

# 農作業コツのコツ

【第 11 号】

令和 2 年 7 月 4 日

福光農業改良協議会

砺波農林振興センター 南砺班

福光農業協同組合 営農部

葉いもち病や紋枯病の病斑が確認されたら早期に防除を実施しましょう！

刈り取った草は、用排水路に流さないようにしましょう！

水稻の生育は、全般に草丈が長く、早生品種で3日、コシヒカリで1日それぞれ早くなっています。また、直播栽培の生育は、全般に良好で、平年より早くなっています。

① 早生品種は**出穂期まで飽水管理**を、中・晩生品種は**幼穂形成期頃まで間断かん水**を行いましょ。

② 斑点米カメムシの発生数を減らすため、**畦畔の草刈りを徹底**しましょう。

## ◎水稻の生育状況

福光農業改良協議会 6/30 良質米実証田生育調査結果

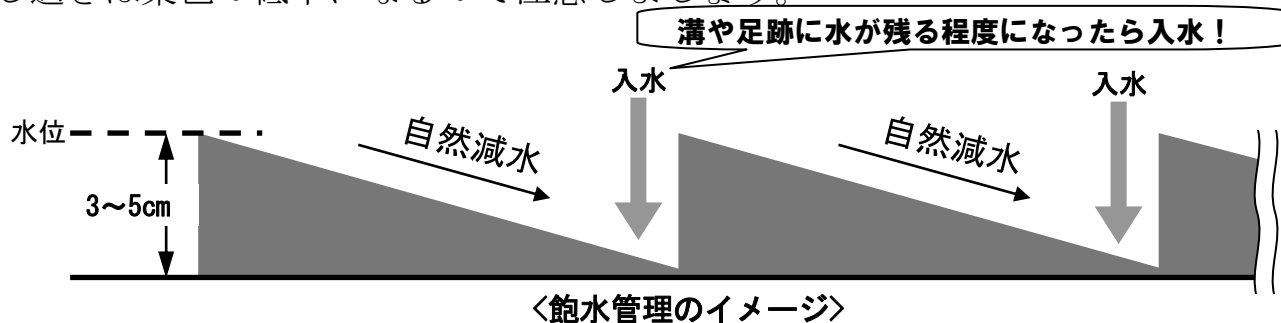
品種名	田植・播種日※		草丈 (cm)		株当茎数・m当茎数(本)※		葉齢 (葉)		葉色		幼穂形成期 (幼穂長 2mm 予想)		
	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	
とみちから	5/3	5/3	67.9	64.0	24.5	24.1	12.4	11.7	4.3	4.3	6/22	6/25	
五百万石	5/4	5/3	58.0	58.3	20.6	18.2	12.8	12.4	4.0	4.3	6/24	6/27	
コシヒカリ	5/15	5/13	58.9	55.9	23.5	22.6	11.2	11.0	4.1	4.2	(7/10)	7/11	
てんこもり	5/8	5/8	51.0	48.6	29.3	35.0	11.9	11.8	4.3	4.2	(7/13)	7/13	
密苗	コシヒカリ	5/17	5/14	53.1	48.1	22.4	33.9	10.8	11.1	4.2	4.3	(7/14)	7/13
	てんこもり	5/10	5/10	46.3	45.8	31.3	40.7	12.1	11.5	4.2	4.3	(7/11)	7/13
直播	カルパゴシ	5/2	4/29	59.2	53.9	177.3	168.2	10.7	10.0	4.0	4.1	—	7/15
	鉄コゴシ	5/3	4/29	47.1	49.8	178.0	165.7	10.7	10.1	4.3	4.3	—	7/15
	鉄コてんこ	4/30	5/1	45.8	39.5	214.5	202.2	11.3	10.7	4.4	4.4	—	7/20

調査筆数：とみちから3筆 五百万石2筆 コシヒカリ3筆 てんこもり2筆 密苗コシヒカリ4筆 密苗てんこもり2筆 直播は各2筆  
※直播の田植日は播種日、株当たり茎数はm当たり茎数

## 1 水管理

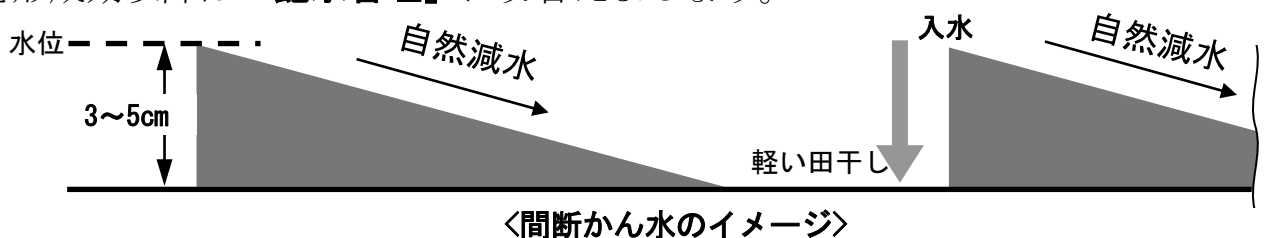
### ①とみちから、五百万石

- ・ 出穂期まで足跡に水が残る程度の「飽水管理」を行いましょ。
- ・ 干し過ぎは葉色の低下になるので注意しましょ。



### ②コシヒカリ、てんこもり、直播

- ・ 湛水と田干しを繰り返す「間断かん水」を行い、幼穂形成期までに足が3cm沈む程度の硬さに仕上げましょ。
- ・ ほ場内に水が溜り放しになる所がないよう、溝の手直しを行いましょ。
- ・ 幼穂形成期以降は「飽水管理」に切替えましょ。

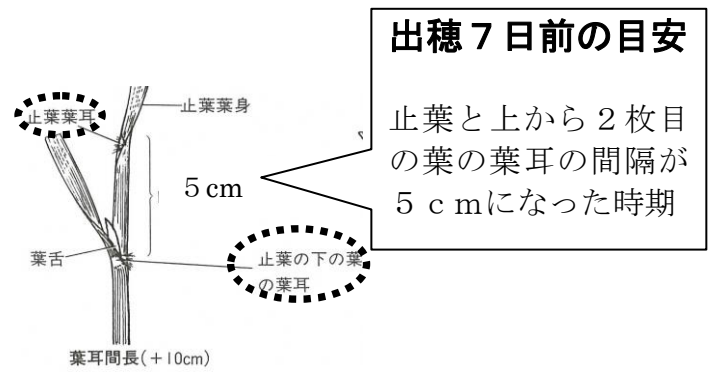


## 2 とみちから、五百万石の出穂前追肥

### ◎出穂期予想

品種	幼穂形成期		出穂期	
	R2	平年	R2 (予想)	平年
とみちから	6/22	6/25	(7/15)	7/18
五百万石	6/24	6/27	(7/14)	7/17

- ・肥効調節（一発）・分施肥系ともに、出穂7日前（五百万石7月7日頃、とみちから7月8日頃）に葉色を確認し、葉色が極端に低下している場合は出穂3日前までに追肥を行い、登熟能力の向上を図りましょう。



### ◎追肥の目安

品種	葉色確認・施用時期	葉色	肥料・量
とみちから	出穂7日前から3日前	4.5以下	追肥3号・ 7~10kg/10a ※
五百万石		4.2以下	

※追肥量は地区担当指導員に問合せください。

## 3 てんこもりの穂肥

### (1) 肥効調節（一発）体系（基肥：LPss 晩生専用）の場合

- ・原則、穂肥は施用しない。
- ・ただし、幼穂形成期前後、葉色が4.0以下の場合は、直ちに追肥3号で10a当たり11kg程度施用しましょう。

### (2) 分施肥系（基肥：基肥555）の場合、1回目の穂肥は幼穂を確認したら、直ちに（5月8日植えて7月11日頃）施用しましょう。

	1回目	2回目
施用時期	幼穂を確認(幼穂長1mm)したら直ちに	1回目の10日後
施用量	11kg/10a	13kg/10a

## 4 病虫害防除

### (1) 畦畔等の草刈りの徹底

7月4日、5日は「県下一斉草刈り日」

- ・水田周辺の雑草地では斑点米カメムシが平年より多く確認されているため、畦畔の草刈りを徹底しましょう。
- ・雑草の穂が斑点米カメムシの繁殖場所となるため、一斉草刈り後は草の穂が出ないようにこまめに草刈りを行いましょう。

### (2) 随時防除

- ・「葉いもち」や「紋枯病」の病斑、葉を食害する害虫を発見したら、早期に防除しましょう。
- ・茎数がやや過剰なほ場では「紋枯病」の発生が懸念されます。現在、早生品種は防除適期（出穂14日前頃）なので、発生が見られたら速やかに防除しましょう。
- ・「稲こうじ病」は、前年多発したほ場では必ず防除を行いましょう。

病虫害	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤DL	直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3~4kg
	ブラシフロアブル				1,000倍で60~1500
紋枯病	バリダシン粉剤DL	穂ばらみ期	収穫14日前まで	5回以内	4kg
	バリダシン液剤5				1,000倍で60~1500
稲こうじ病	Zボルドー粉剤DL	穂ばらみ期まで	出穂10日前まで	—	4kg
イネアオムシ イネツトムシ コブノメイガ	トレボン粉剤DL	直ちに	収穫7日前まで	3回以内	4kg
	パダン粉剤DL	直ちに	収穫21日前まで	6回以内	

※詳しくは、「営農とくらし」39~41ページを参照願います。